国際学術情報流通基盤整備事業の概要と計画

国立情報学研究所
国際学術情報流通基盤整備事業推進室

国際学術情報流通基盤整備事業

問題点

日本の学術論文の約８０％が海外雑誌に流出している。

日本の学術雑誌の国際的知名度が低く、国際的流通が不十分

インターネットの普及にもかかわらず電子ｼﾞｬｰﾅﾙ化が進んでいない

電子ジャーナル化されている雑誌でも大学図書館等へのビジネスモデルができていない

支援内容

日本を代表する24学会30誌を選定

国際化支援、国際連携の推進

・編集･査読の国際化支援
・ＳＰＡＲＣ等海外機関との連携

電子ジャーナル化の支援

・編集工程の電子化支援
・J-STAGE等による電子ジャーナル発行支援

大学図書館への販売支援

・サイトライセンス契約の支援
・分野別パッケージ化の推奨

支援　連携

JST 科学技術振興機構

国立大学図書館協会
私立大学図書館協会

米国SPARC
欧州SPARC

連携

国立情報学研究所
National Institute of Informatics

国際学術情報流通基盤整備事業評議会

成果

生物系パッケージ
UniBio Pressの誕生

大学図書館等との電子ジャーナル購読契約

数学系ジャーナルへのProject Euclidの紹介

学術コミュニケーションの変革

目標

一流の国際学術雑誌を育て、日本からの研究成果の海外発信を強化する

学協会の電子的出版活動の促進と日本の学術雑誌の国際的評価の確立

平成１５年度の活動と成果

活動	成果
・国際学術情報流通基盤整備事業説明会（東京、仙台） ・参画提案募集（応募：51誌40学会） ・参画提案選定（21誌16学会） ・作業グループ活動（合同会議、全体懇談会） ・第5回図書館総合展フォーラム開催（SPARC/JAPAN:日本の国際学術コミュニケーションの変革） ・国立大学図書館協議会電子ジャーナルタスクフォース（生物系、物理系、医学系の購読交渉） ・Project Euclidの招聘と連携強化（説明会開催） ・生物系セミナーの開催 ・米国での調査活動 Duke University(XMLデータ作成技術動向調査) ICOLC 2004 Johns Hopkins University(Project Muse調査) SPARC/USA	**生物系パッケージ UniBio Press の誕生** •生物系ジャーナルのパッケージ化 •日本動物学会、日本哺乳類学会、日本哺乳類卵子学会 •わが国初の複数学会による自主パッケージの成立 **大学図書館との電子ジャーナル購読契約** •UniBio Pressの契約成立の他、物理系等の契約交渉開始 •わが国初の電子ジャーナル購読契約交渉の実施と成立 **数学系ジャーナルへのProject Euclid紹介** •数学・統計系ジャーナルの統一プラットフォームの紹介 •SPARC(US)パートナーであるProject Euclidとの協調成立 •数学・統計系ジャーナル相互の情報交換

平成１６年度のタスクと目標

タスク	目標
(1)作業グループを核とした事業推進 パッケージ化推進のための支援、新規参画学協会の募集や(2)〜(5)の支援・コンサルティングを行う **(2)電子ジャーナル化の推進** JSTとの連携による電子化支援や利用統計の収集、分析を行うほか、遡及変換方針の策定等を行う **(3)大学図書館との連携** 大学図書館コンソーシアムとのサイトライセンス購読交渉や最新の動向（オープンアクセス、機関レポジトリ等）に係るセミナー等教育宣伝活動の推進 **(4)研究者投稿動向調査** **(5)選定誌の競争力評価と戦略目標の設定** 国内雑誌への投稿呼び戻しや選定誌の評価向上のための戦略策定を目的とした調査実施	**分野別（分野横断）パッケージの強化** ・UniBio Pressの拡充 ・Project Euclid, Project Museとの連携強化 ・新規参画学協会の選定によるパッケージの充実 **サイトライセンス契約の拡充** ・選定誌の購読機関の拡充 ・電子ジャーナルのビジネスモデルの確立 **電子ジャーナル化の推進** ・J-STAGEの機能評価 ・遡及変換の実施 ・電子投稿・編集システムの試行と評価 **次年度へ向けた指針作り** ・選定誌の認知度向上のための戦略策定 ・オープンアクセスの検討

平成16年度参画提案の選定について

1. 選定の経緯

平成16年6月7日～8月20日	参画提案受付期間
平成16年9月15日	運営委員会（採択提案選考）
平成16年9月22日	評議会（採択提案選定）

2. 応募状況

応募雑誌数	20誌
応募学協会（機関）数	15学協会（機関）

3. 選定結果

採択	9学協会（機関）9誌
不採択	6学協会（機関）11誌

※平成16年9月29日付文書にて通知済み

平成16年度活動スケジュール

月日	活動内容
5月28日	第1回運営委員会（16年度事業計画、新規参画募集）
6月2日～8月20日	第1回評議会（16年度事業計画、新規参画募集）
6月7日～8月20日	参画提案募集（HP及び文書送付）
6月16日・17日	米国SPARCとの打合せ
7月1日	国立大学図書館協会総会ワークショップ（大阪大学）
7月7日	国際学術情報流通基盤整備事業説明会（NII）
7月8日・9日	東北大学セミナー（数学系、材料系）
8月～9月	研究者投稿動向調査（順次、実施中）
8月27日	学術コミュニケーションに関する検討会議（NII）
9月～	国立大学図書館協会電子ジャーナルタスクフォースサイトライセンス購読の提案（物理系、材料系）
9月15日	第2回運営委員会（参画提案選定案）
9月16日	学術情報・電子ジャーナルシンポジウム「大学における学術情報資源の整備」（京都大学）
9月22日	第2回評議会（参画提案選定）
9月27日～28日	Project Euclidとの打ち合わせ（NII）
10月14日	選定誌作業グループ合同会議
10月15日	シンポジウム「学会出版と学術コミュニケーション活動の変革～SPARC/JAPANを事例として～」（広島大学）
10月19日	緊急シンポジウム「どうする日本の学術誌！」（早稲田大学）
10月19日～20日	DPubS（Digital Publishing System） Conference (Cornell University)
10月28日～30日	ICOLC Fall'04 Barcelona
11月15日	Oxford University Press Martin Richardson氏懇談会「Open Accessの現状について」（NII）
11月18日～19日	SPARC/SPARC Europe Workshop（Institutional Repositories）
11月24日～26日	第6回図書館総合展（11/25フォーラム開催「学術コミュニケーション最先端（仮題）」）
（未定）	ワークショップ（仮題：Creating Business Models for Scholarly Communications and the role of Libraries as Publishers）

※この他、随時セミナー、シンポジウム等の教育・宣伝活動を開催予定